

第3回ワークショップ 高齢化とごみの収集方法について 【チーム名】オリンピックチーム

1 高齢化に必要なサービス（ごみ出しについて）

身体が自由が利かなくなる。気力がなくなってくる。若い人には想像できない日常の衰えがある。

…フォローする仕組みが必要⇒高齢者の実態調査の必要性

集積所に持っていくのが大変。手押し車も検討したが、戸別に集めてほしい。

ごみ袋は重い。分別が分かりづらい。高齢者だからといってごみの量は少なくなる。集積所が近くても出しにくい。

集めるのに役割分担

自治会でじょうぶな集積所を作成した。

病気になった時に戸別収集してほしい。

一人暮らしになった時、ごみの問題だけではなく。できないことが増える。福祉的な問題がある。

2 収集方法と長所・短所

収集方法	良い点	悪い点
ステーション収集	自治会等でじょうぶなごみ収納箱を作成 (カラスや猫対策)	せん定枝が燃えるごみに多く出ている。 回収日でない日にごみが出され、片付けが必要になる。 車で持ってきて、指定場所以外に不法投棄する。 ⇒通勤者への意識付け
愛の一声ごみ収集	仕分けしなくても回収してくれる。 ※仕分けすることが困難な場合	要介護でなくても病気等個別の事情に配慮がない。 どこに連絡するのかわからない。
戸別収集	全戸戸別は将来的に必要 有料化は収集の負荷から必要	個別の経済状況に配慮した有料化 気力がなくなっている人に福祉から丁寧なアプローチ 戸別収集についてモデル地区で試行

3 高齢化に必要な収集方法

戸別収集をモデル的に進める。

ごみ集積所を分別が分かりやすいよう色分けする。(マナー、不法投棄防止)

第3回ワークショップ 高齢化とごみの収集方法について 【チーム名】 ゴミラブ

1 高齢化に必要なサービス（ごみ出しについて）

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| ①サービスの必要な方の個々の状況を把握（要介護認定外） | ②近隣の助け合い |
| ③新聞配達や宅配業者等と連携してごみを排出する。 | ④戸別収集化（無料がベスト） |

2 収集方法と長所・短所

収集方法	良い点	悪い点
ステーション収集	近隣交流（井戸端会議） 回収作業が楽	マナーが悪い（時間、分別） 持ち込みまでが負担 集積所の清掃が必要
愛の一声ごみ収集	高齢者には助かる。	介助者への負担増
戸別収集	マナーが守られる ごみ減量意識の高揚 排出が楽	費用負担増（行政、個人ともに）

3 高齢化に必要な収集方法

究極の収集依頼SOS（プライバシーの保護）

※誰でもごみ出しに困難な状況となったときに、「ここに連絡すれば収集してくれる」ところを作って周知する。

プライバシーを確実に保護することが必要

第3回ワークショップ 高齢化とごみの収集方法について 【チーム名】さくら班

1 高齢化に必要なサービス（ごみ出しについて）

エレベーターのない高層住宅への配慮、高齢化に伴い分別が困難になる。
自治会で対応には限度がある。（自治会で差がでてくる。）、自治会員の負担が多くなると退会者が多くなる懸念がある。

2 収集方法と長所・短所

収集方法	良い点	悪い点
ステーション収集	収集回数が少なくて済む。	場所が遠いと大変（雨の日など）
愛の一声ごみ収集	ごみ屋敷がなくなる。	プライドが気になる。
戸別収集	排出者の責任が明確になるので、排出マナーが改善する。 ごみに対しての意識が向上する。 減量化、資源化が推進できる。 集積所に行かなくてすむので、高齢者は楽になる。	集合住宅の課題（管理者がいないところと管理者がいるところの温度差、常にごみが溜まっているところ）

3 高齢化に必要な収集方法

地域の助け合いによるごみ出しの取組が必要（必要だが、今、助け合いはなくなっている。）
戸別収集への移行

第3回ワークショップ 高齢化とごみの収集方法について 【チーム名】街をきれいにしましょう

1 高齢化に必要なサービス（ごみ出しについて）

高齢者の把握ができない。…個人情報にネックになっている。
自治会の責任者とマンションの管理者がコミュニケーション（話し合い）をとること

2 収集方法と長所・短所

収集方法	良い点	悪い点
ステーション収集	一箇所に集められる。 犬、猫、鳥の害から守ることができる。	集合住宅は出し方が悪い。
愛の一声ごみ収集	安否が確認できる。	個人のプライドがある。
戸別収集	遠くまで運ぶ必要がない。 自宅の前に出すので、分別が正しくなる。	犬、猫、鳥の害があるのではないか。

3 高齢化に必要な収集方法

愛の一声が必要な人の情報（個人情報に触れない程度）を、関係者で共有する。